

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	まちづくり市民ファンドの運用			事業番号	39-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	山室 好正	財政課	八鍬 文子	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え実行するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	39	健全で安定した財政運営の強化	
予算事業名	財政運営事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	
関連法令等	地方税法				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	厳しい財政状況の中、伊勢原市第5次総合計画に掲げている将来都市像「しあわせ創造都市いせはら」の実現に向けたまちづくりを推進するためには、財源確保に向けた積極的な取組が必要です。				
目的 (何をどうしたいのか)	市民等が寄附を通して、市民活動への助成や教育、公共施設の整備など、市のまちづくりを応援するまちづくり市民ファンドを運用し、財源の確保に取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民等の寄附者(企業、団体等を含む。)				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 返礼品の充実を図るとともに、制度を周知して広く寄附を募ります。 事業の成果が市民等に見えるよう市民ファンドの活用状況を公表し、制度を適切に運用します。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	寄附金の受入れ	寄附金の受入れ	寄附金の受入れ		
	ファンドの運用状況の公表	運用状況の公表	運用状況の公表		
	返礼品制度の運用	返礼品の充実・周知	返礼品の充実・周知		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	寄附金受入額	8,400万円 (令和2年度)	8,400万円	8,400万円	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	返礼品制度を継続することができるよう、制度の適切な運用に向け、適宜見直し等を行うとともに、制度の活性化、寄附金の増収に向け、委託業務の見直し等の改善を図ります。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 レッドホースコーポレーション(株)、(株)トラストバンクほか
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	寄附金の受入れ	寄附金の受入れ	寄附金の受入れ
	ファンドの運用状況の公表	運用状況の公表	運用状況の公表
	返礼品制度の運用	返礼品の充実・周知	返礼品の充実・周知
実施した取組の内容	ふるさと納税制度の適切な運用に努めるとともに、複数の募集サイトの活用や観光地・各種イベント等でのチラシの配布等、増収に向けた取組を行いました。また、委託業務の見直しを図り、次年度に向けた準備を進めました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	寄附金受入額	8,400万円 (令和2年度)	令和3年度 4,373万4千円 令和4年度 7,074万7千円

	年度		令和3年度 実績		令和4年度 実績					
コスト	事業費合計 (a)		18,792	千円	14,051	千円				
	内訳	国県支出金 ①	280	千円	330	千円				
		地方債 ②	0	千円	0	千円				
		その他特財 ③	0	千円	0	千円				
		一般財源 (a)-①-②-③	18,512	千円	13,721	千円				
国県支出金の内容		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金								
その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無	前回の改定時期							
	その他									
人件費	正規職員		0.37	人	3,027	千円	0.41	人	3,514	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.37	人	3,027	千円	0.41	人	3,514	千円
トータルコスト (a)+(b)				21,819	千円			17,565	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	寄附金額		単位	寄附金額		単位		
		対象数	43,734		千円	70,747		千円		
	総事業費／対象数	499		円	248		円			

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左判断理由	まちづくり市民ファンド寄附金総体としては増加したものの、「ふるさと納税」については、周知や返礼品の充実に努めましたが、他自治体との競合等により寄附金の受け入れは、目標を下回りました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	寄附金を募る目的や仕組みが異なるため、一律に比較することはできません。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	本市特産品を広くアピールするとともに教育や福祉の充実等、まちづくりの推進に係る事業の財源として活用することができました。
効率性 [選択・記入]	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左判断理由	ふるさと納税ポータルサイトの運営や返礼品管理代行業務など、民間事業者のノウハウをより効果的に活用できるよう見直しが必要です。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	まちづくりのための事業を進めるために、有効な取組です。人口減少が見込まれる中、税外収入の確保は重要な課題であり、本市の取組状況に対する検証を行った上で、今年度見直しを図った委託業務により、民間事業者のノウハウを最大限活用するとともに、関係部署と連携し、寄附金増収に向けた取組を進めます。